2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント等の提供を招請する。
⑴　資料等の提供期限　平成24年９月18日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
⑵　提出先　〒104―0045 東京都中央区築地５－１－１　独立行政法人国立がん研究センター　財務経理部調達企画室　田綿　修一　電話03―3542―2511　内線2159
3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
⑴　交付期間　平成24年８月３日から平成24年９月18日まで。
⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。
4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を下記のとおり開催する。
⑴　開催日時　平成24年８月13日16時00分
⑵　開催場所　独立行政法人国立がん研究センター管理棟第３会議室
5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。
6　Summary
⑴　Classification of the products to be procured : 22, 31
⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : Interventional Radiology CT (IVR-CT) system 1 set.
⑶　Time-limit for the submission of comments : 5 : 00 P.M. September 18th, 2012
⑷　Contact point for the notice : Syuichi Tawata, Director, Accounting Section 1, National Cancer Center Chuo Hospital, 5―1―1, Tsukiji, Chuo-ku, Tokyo, 104―0045, Japan. TEL 03―3542―2511 ext. 2159

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。
平成 24 年８月３日
独立行政法人国立がん研究センター
理事長　堀田　知光

◎調達機関番号　611　◎所在地番号　13

○第７号

1　調達内容
⑴　品目分類番号　22、31
⑵　購入等物品び数量　ＳＰＥＣＴ－ＣＴ装置一式
⑶　調達方法　購入等
⑷　導入時期　平成24年度第４・四半期
⑸　調達物品に必要とされる基本的要求要件
①　ＳＰＥＣＴ－ＣＴ装置はガンマカメラ装置と多列Ｘ線ＣＴ装置を備え、共通の検査台においてシステム連携のもと検査が行えること。
②　多列Ｘ線ＣＴ装置は高精細な画質で検査可能であり、医療Ｘ線被ばくを低減する機構と機能を有すること。
③　ガンマカメラ装置は２検出器型フルデジタルガンマカメラを有すること。
④　画像再構成ならびに解析に必要なソフトウエアをそれぞれ有すること。
⑤　病院情報システム、画像ファイリングシステム（ＤＩＣＯＭ3.0）との間で画像、患者検査情報、実施情報等の入出力が可能であること。
⑥　安定で迅速な保守支援体制、ユーザー利用時の支援を十分行える体制を有すること。
⑦　将来の機能拡充に対して柔軟な対応ができること。
2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント等の提供を招請する。
⑴　資料等の提供期限　平成24年９月18日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
⑵　提出先　〒104―0045 東京都中央区築地５－１－１　独立行政法人国立がん研究センター　財務経理部調達企画室　田綿　修一　電話03―3542―2511　内線2159
3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
⑴　交付期間　平成24年８月３日から平成24年９月18日まで。
⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。
4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を下記のとおり開催する。
⑴　開催日時　平成24年８月13日16時30分
⑵　開催場所　独立行政法人国立がん研究センター管理棟第３会議室
5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。
6　Summary
⑴　Classification of the products to be procured : 22, 31
⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : Single Photon Emission Computed Tomography-CT (SPECT-CT) system 1 set.
⑶　Time-limit for the submission of comments : 5 : 00 P.M. September 18th, 2012
⑷　Contact point for the notice : Syuichi Tawata, Director, Accounting Section 1, National Cancer Center Chuo Hospital, 5―1―1, Tsukiji, Chuo-ku, Tokyo, 104―0045, Japan. TEL 03―3542―2511 ext. 2159

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。
平成 24 年８月３日
独立行政法人国立がん研究センター
理事長　堀田　知光

◎調達機関番号　611　◎所在地番号　13

○第８号

1　調達内容
⑴　品目分類番号　22、31
⑵　購入等物品び数量　全自動細菌検査・感染管理システム　一式
⑶　調達方法　購入等
⑷　導入時期　平成24年度第４・四半期
⑸　調達物品に必要とされる基本的要求要件
①　全自動細菌検査装置　一般細菌の同定・薬剤感受性検査を全自動で実施でき、菌液接種後のパネルを装着すれば、パネル毎に培養時間の管理、結果読み取り、耐性菌の検出等の処理を全自動で実施できる。そして、得られたデータをＣＬＩＳ準拠の判定規準をもとに解析し、それらの結果を微生物検査システムへ送信できる機能を有する機器であること。
②　微生物検査システム　現在の微生物検査体制（オーダ受信と結果送信、自動機器とのオンライン）に加えて、様々な付加情報・報告を検査室から情報提供を行うシステムであり、日常の検査結果報告書への付加情報（菌・薬剤辞書）、院内感染対策用週報・月報・院外（厚生労働省）サーベイランスへのデータ排出などができる機能を有するシステムであること。
③　感染管理システム　文字や画像、動画などを簡単に扱うことができるＷｅｂブラウザを利用したシステムであり、主に院内感染対策活動（情報発信、ラウンド、アウトブレイク監視、サーベイランス、抗生剤の使用状況管理、針刺し・曝露報告データ入力等）を支援できる情報を院内システムから取得・集約し、院内のイントラネットで閲覧できる機能を有するシステムであること。
④　細菌性心筋炎検索システム　抗原／抗体の活性値を測定する為に蛍光マーカを用いる方法で、生体液中の成分を試薬と反応させ、蛍光試薬から発せられる蛍光強度を検出し、抗原／抗体量を自動で測定する装置で心筋トロポニンＩ、ミオグロビン、ＣＫＭＢ蛋白量、ＮＴＰｒｏＢＮＰの測定機能を有するシステムであること。
⑤　抗菌薬血中濃度測定装置　用手法による臨床化学分析法を着実に自動化した装置であり、測定は個別の試験チューブやキュベットで行われ、コンベア又はターンテーブルで運ばれる途中に各ステーションで試料、希釈液及び試薬が調合されること。混合及び発色のための時間が考慮されており、その後に、内蔵されている分光光度計で反応混合物の吸光度を測定し、トブラマイシン、ゲンタマイシン、バンコマイシンの測定が可能であること。